

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公開番号】特開2007-86493(P2007-86493A)

【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2005-276070(P2005-276070)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 15/20 5 1 5

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月22日(2008.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結着樹脂及び着色剤を含有する静電潜像現像用トナーであって、

X線光電子分光法により測定されるトナーの表面近傍に含まれる3価の金属元素の含有量(A)と2価の金属元素の含有量(B)との比(A/B)が、0.20~0.55の範囲であり、かつ、前記トナーの重量平均分子量(Mw)が324000~336000の範囲であることを特徴とする静電潜像現像用トナー。

【請求項2】

請求項1に記載の静電潜像現像用トナーを含有することを特徴とする静電潜像現像剤。

【請求項3】

少なくとも、像担持体表面を帯電する帯電工程と、帯電された前記像担持体表面に画像情報に応じた静電潜像を形成する静電潜像形成工程と、前記像担持体表面に形成された前記静電潜像をトナーを含む現像剤により現像してトナー像とする現像工程と、前記像担持体表面に形成されたトナー像を被転写体表面に転写する工程と、被記録体表面に形成されたトナー像を定着部材により被記録体表面に定着する定着工程と、を含む画像形成方法において、

前記定着部材表面の熱伝導率が1~1000W/m·Kの範囲であり、前記トナーが、請求項1に記載の静電潜像現像用トナーであることを特徴とする画像形成方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記課題は、以下の本発明により達成される。すなわち、本発明は、

<1> 結着樹脂及び着色剤を含有する静電潜像現像用トナーであって、

X線光電子分光法により測定されるトナーの表面近傍に含まれる3価の金属元素の含有

量 (A) と 2 価の金属元素の含有量 (B)との比 (A / B) が、 0 . 2 0 ~ 0 . 5 5 の範囲であり、かつ、前記トナーの重量平均分子量 (M_w) が 3 2 4 0 0 0 ~ 3 3 6 0 0 0 の範囲である静電潜像現像用トナーである。